

2. GISTの診断

2-1. GISTの特殊性

POINT

腫瘍はその特殊性から分類されるものである。その特殊性は、腫瘍の発生起源や腫瘍化の機序、治療に対する反応性などから由来するもので、GISTはいずれの意味においても特殊な腫瘍と考えられ、1つの腫瘍型として分類されるべきである。

腫瘍を分類する意義は、その腫瘍が他の腫瘍に比べどれくらい特殊であるのかということにある。その特殊性は、腫瘍の起源から由来するものであっても、腫瘍化の機序から生まれるものであっても、治療に対する反応性から起こるものであってもよい。以下に示すように、GISTはいずれの意味においても特殊な腫瘍であり、1つの独立した腫瘍型として分類されるべきである。

まず特殊性の第1は、GISTがカハールの介在細胞(Interstitial cells of Cajal ; ICCs)を起源とする(もしくはICCsへの分化を示す)腫瘍と考えられることである。第2は、*c-kit*遺伝子の機能獲得性突然変異がGISTの発生に深く関わっていることである。第3は、第2の点と密接な関係があるが、KITを標的とした治療が著効を示すことである。